



# みどり

幼児教育センター(仮称)だより

京都市幼児教育センター・統合幼稚園開設準備室

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549

TEL 075-212-9901 FAX 075-212-9909

URL <http://www.city.kyoto.jp/kyoiku/youkyo>

冬号

平成11年1月

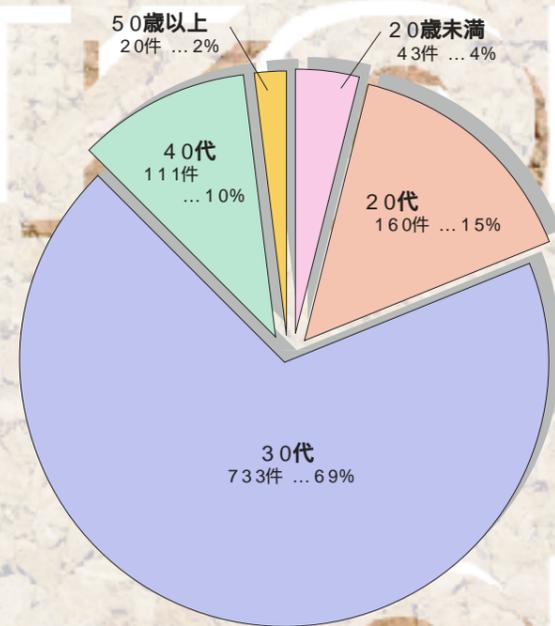


- 「こども元気ランド」 市民アンケート実施結果発表
- 「幼児教育センター」(仮称)の名称募集!
- 新着情報 「幼児教育センター インターネットホームページ」を開設
- 現地レポート
- エッセンス～子どもは風の子～
- 気軽な子育てQ
- インフォメーション
- 編集後記

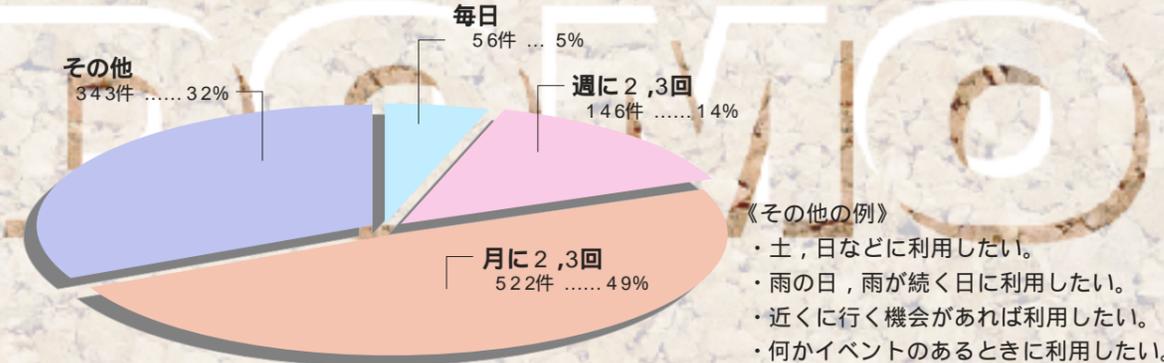
# 「こども元気ランド」市民アンケート実施結果発表

～市民の皆さんから総数 1,067 件もの回答をいただきました～

## 【1】回答者の内訳



## 【2】「こども元気ランド」がオープンしたら、どの程度利用したいと思いますか？



## 【3】「こども元気ランド」をどんな目的で利用されますか？（複数回答）



## 【4】企画してほしいイベント内容（複数回答）

- 1位 人形劇
- 2位 昔の遊び体験
- 3位 造形（粘土、紙など）
- 4位 紙芝居
- 5位 演奏会

### その他

- ・お年寄りとの交流
- ・子ども発表会
- ・親子教室（料理・体操・作法など）
- ・子育て相談会・講演会
- ・映画鑑賞会 など……

## 【5】「こども元気ランド」について寄せられた意見（抜粋）

0～2歳児には、体で感じる揺れや感触（スライムなど）が楽しめる物、4～5歳児向きには、トランポリン、運動マットなどがあればよいと思う。  
木製の遊具が“木のぬくもり”があって、安全でよいと思う。  
子ども自身で発見して遊べる遊具や、親子で一緒に楽しめる遊具があればよいと思う。  
駐車場・駐輪場を確保してほしい。  
子ども専用（子どもサイズ）のトイレ、手洗い、机、イスなどを用意してほしい。  
障害のある子どもも遊べるような「おもちゃコーナー」がほしい。  
祝祭日、日曜日なども開館してほしい。  
入場人数の制限などはなくても大丈夫なのでしょうか？  
親子で楽しめるイベントや教室を開いてほしい。  
窓が大きく太陽の光がたくさん入り、建物の中なのに窮屈さを感じさせないように思う。  
雨の日に体を動かして遊べるのでよい。  
たくさん子どもたちと触れ合い、心身共にたくましく育てられる場所であり、親たちの意見・情報の交換ができる場所でもあればと思う。  
孤独な環境で精一杯子育てをしている親にとって“心の支え”となる施設であってほしい。  
育児に関する相談会、講演会、研修会などの企画を定期的に行ってほしい。  
育児・幼稚園・保育園などに関する情報提供をしてほしい。

励ましの言葉や、感想、疑問に思うところ、中には辛口の意見もあり、私たちでは気付かなかったこともたくさんありました。これからも皆さんの期待に沿えるよう事業を進めていきたいと思っています。たくさんの方々にアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

# 「幼児教育センター」(仮称)の 名称募集!

次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、「子育て支援の中核施設」として、平成12年(2000年)1月のオープンを目指し、建設を進めている「京都市幼児教育センター」(仮称)が、広く市民の方々に親しまれ、愛される施設となるよう、この度、その「名称」を皆さんから募集します。とじ込みの募集チラシに付いているハガキでどしどしご応募ください。

## 新着情報

### 幼児教育センター

## 「インターネットホームページ」開設

平成11年1月から、幼児教育センター・統合幼稚園開設準備室独自のホームページが開設されました。これまで、本誌や市民しんぶん紙上等の限られたスペースでしたが、準備の進捗状況等をお知らせすることができませんでしたが、このホームページの開設により、これまでの取組経過や施設の全体像などを情報発信することができるようになり、より一層、幼児教育センターのことについて知っていただけるとともに、皆さんから幅広いアイデアやご意見を寄せていただけたらと思っています。

主なコンテンツは、 幼児教育センター(仮称)の基本構想  
建設概要 幼児教育センター(仮称)だよりのバックナンバー などなど。もちろん、今回募集する幼児教育センターの名称にも応募することができます。(ただし、1回につき1点)。何はともあれ、早速アクセス、アクセス!

URL: <http://www.city.kyoto.jp/kyoiku/youkyo>



## 現地レポート

現在、1階の柱・壁、2階の床などの配筋・型枠組の工事を行っており、平成12年1月の開館を目指して、順調に進んでいます。

### 建設概要

- ・建設場所 京都市中京区間之町夷川上る楠町601番地の1 (元竹間小学校跡地)
- ・敷地面積 約2,800m<sup>2</sup>
- ・延床面積 約6,200m<sup>2</sup> (統合幼稚園及び地下駐車場等含む)
- ・建築規模 鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建



[平成10年11月30日現在]

## ～子どもは風の子～

冬の訪れとともに、外で子どもたちの遊ぶ姿を見かけることがめっきり少なくなりました。皆さんは、あたたかく暖房のきいた部屋に子どもと閉じ込もってばかりいませんか。

こういう寒い時こそ、思いきって一緒に外へ出てみてはいかがでしょう。子どもにとって小さな大発見があるかもしれませんよ。公園の水道の蛇口や水たまりなどで、美しく結晶した薄い薄い氷を見つけるかもしれません。冬枯れの枝もよく見ると小さな木の芽が顔を出していたり、冷たい土の上を這うように咲いているちっちゃな紫色の花（いぬふぐり）などを見つけたり……。子どもは、北風と一緒に、時にはちらちら舞う雪と一緒に駆け出すでしょう。心がワクワクしてきて寒さも忘れてしまいそうです。そして、子どもの心にもあたたかい思いがふくらむことでしょう。



前号で紹介しました「公園へよく連れて行くのですが、私にしがみついて、なかなか友達の中に入っていきません。なんとか一緒に遊ばせたいのですが……」という相談について、

「私の経験ですが、他の子どもたちと一緒に遊ばせたいと思って、子どもを私から離そうとすればするほど、よけいにしがみついてきました。あきらめて、私たち親同士が話に夢中になっていて、ふと気がつくと、他の子の遊ぶのをじっと見ながら、なんだか楽しそうな様子でいました。その時、『実際に体を動かして遊んでいなくても、心では参加しているのだな』って思い、無理に一緒に遊ばせようとしたことを少し後悔したことを覚えています。今では、その子の方が、誰の中にも臆せず入っていった上の子より、自分の思いでじっくり遊んでいるように思います。」

という、アドバイスを子育ての先輩ママからいただきました。皆さんはどうでしょうか。

このコーナーでは、皆さんからの子育てに関する素朴な疑問や気軽な相談を受け付けています。ご質問などは下記の宛先までお願いします。

京都市幼児教育センター・統合幼稚園開設準備室  
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549  
FAX 075-212-9909

# インフォメーション 2月13、14日

## 「平成10年度 保育フェスタ」で「幼児教育センター(仮称)」をPR!

今年も盛り沢山の楽しい企画で開催される「笑顔いっぱい、元気いっぱい、保育フェスタ」に、私たちの「幼児教育センターPRブース」を出展することが決まり、またまた、皆さんと会えることになりました。是非、遊びに来て下さいね。

### 「笑顔いっぱい、元気いっぱい、保育フェスタ」 [入場無料]

- とき 平成11年2月13日(土)午後0時30分～午後4時30分  
14日(日)午前9時30分～午後4時30分  
15日(月)午前9時30分～午後4時(絵画展のみ開催)

- ところ 京都市勤業館「みやこめっせ」
- 問合せ 京都市民生局福祉部保育課(TEL 251-2390)  
(社)京都市保育園連盟(TEL 841-5493)



※同時開催:「児童問題シンポジウム」—地域における児童虐待防止ネットワークづくりに向けて—  
日 時 平成11年2月13日(土)午後1時30分～午後4時15分  
会 場 京都会館第二ホール  
内容等、詳細については京都市児童相談所(TEL 801-2929)まで、お問い合わせください。

### 編集後記

前号で募集しました「こども元気ランド市民アンケート」では、1,067件ものたくさんの回答をいただき、本当にありがとうございました。皆さんからいただいたご意見の一つ一つに子どもたちに対する深い愛情と慈しみが感じられ、とても参考になるものばかりでした。今後、いただいたご意見をもとに検討を重ね、子どもたちにとって、また、子育てに携わる方たちにとって、よりよ

い施設となるよう取組を進めていきたいと考えています。さて、今号では、いよいよ、開館まであと1年となった「幼児教育センター」(仮称)の「名称」を募集します。皆さんの想像力、発想力をフル回転して、だれからも親しまれるような素敵な名前をつけて下さい。よろしくお願いします。